

参考: 関西エリアにおける傾向

本アンケート調査を、関西エリア在住学生(n=1106)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

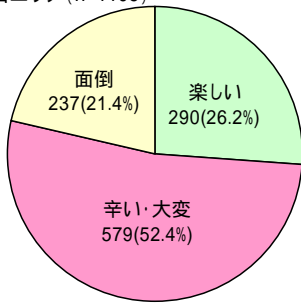
【就職活動における心理】

関西エリア学生の52%(全国52%)が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分は何とかなる」と思っている学生は17%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(67%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生では「辛い・大変」とした学生よりも「何とかなる」とする割合が10.2ポイント高い。また、関西エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)と同水準となっている。

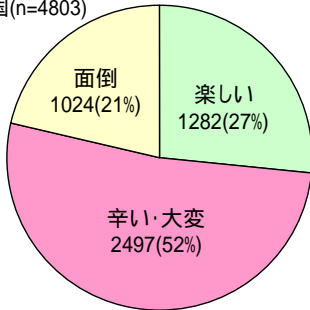
現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

関西エリア(n=1106)

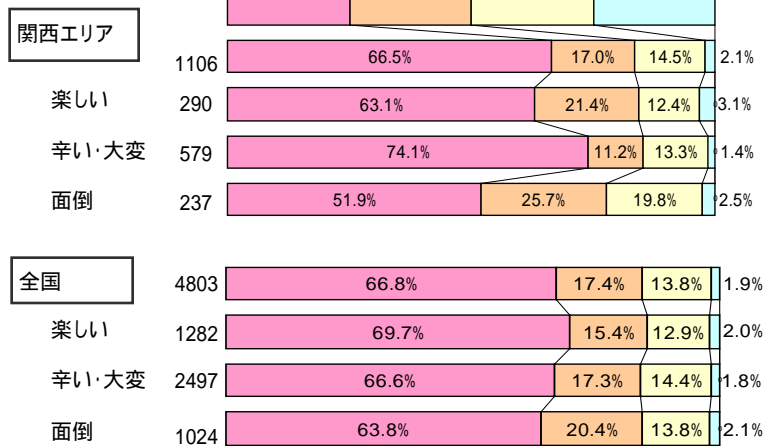
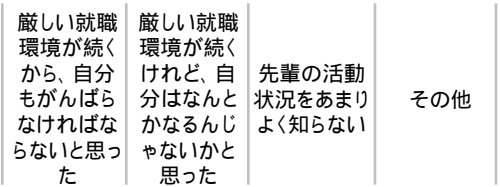


全国(n=4803)



一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



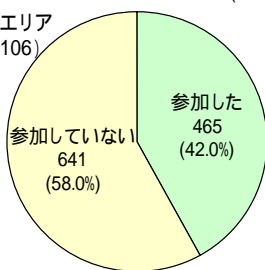
【就職活動の状況】

インターンシップへの参加割合は全国をやや上回るが、OB・OG訪問をした人の割合は3.3ポイント低い21%にとどまり、全国(24%)を下回った。訪問したOB・OGの人数は、「2人」「3人」の割合(47%)が、全国(38%)に比べて多くなっている。

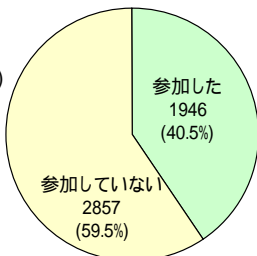
インターンシップ参加の有無

(単一回答)

関西エリア(n=1106)



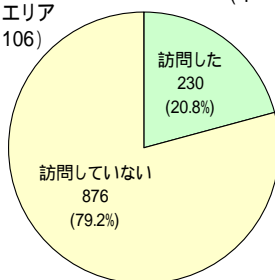
全国(n=4803)



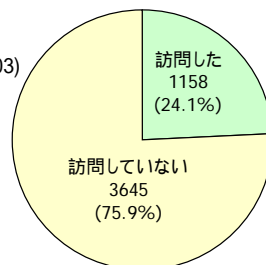
OB・OG訪問の有無

(単一回答)

関西エリア(n=1106)



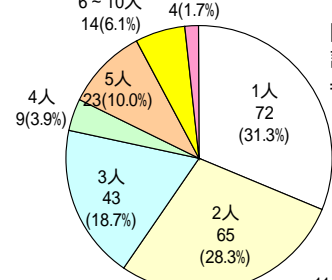
全国(n=4803)



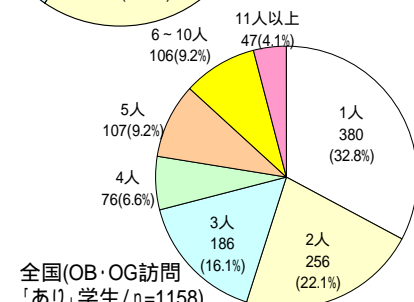
OB・OG訪問した人数

(単一回答)

関西エリア(OB・OG訪問「あり」学生/n=230)



全国(OB・OG訪問「あり」学生/n=1158)



インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。